

指導例 1

SNS教育プログラム レッスン1 学習指導案

1 単元名 適切なコミュニケーションを考える

2 本時のねらい

- (1) 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- (2) コミュニケーションにおける危険に気付き、話し合うことをとおして適切なコミュニケーションについて考える。

3 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 (10分)	・ 本時の目標を確認する。 ・ 授業の評価項目について生徒と共有する。	・ 授業前に、以下の内容が記載されたカードを全員に配付しておく。 ①「まじめだね」 ②「おとなしいね」 ③「一生懸命だね」 ④「個性的だね」 ⑤「マイペースだね」
	指示：5枚のカードうち、自分が言われて嫌だと感じる順に、並べ替えましょう。	
	・ 個人ワークとして上記の課題に取り組む。 ・ 4人程度の班に分かれ、班の中で自分の考えを表現し、グループで共有する。	・ 他者の考えを頭ごなしに否定せず、まずは受容して聞くことを意識させる。 ・ 感じ方は人によって違い、正解があるわけではないことを伝える。
展開1 (15分)	・ プリントの事例を基に、SNSでのトラブルについて考える。	・ プリントを配付する。
	発問：Cさんのしたことの何が問題だったのでしょうか。	
	・ 個人ワークとして上記の課題に取り組む。 ・ グループ内で自分の考えを表現し、グループで共有する。話し合った内容は、プリントにメモする。 ・ グループで話し合ったことを、クラスで共有する。	・ 単に自分の考えの伝達のみにも陥ることなく、相手の考えに対する賛同、反対などが出し合えるようにする。 ・ 共通点、相違点などを整理する。

指導例 1

展開 2 (20 分)	絵本教材「デジタルネイティブの君たちへ」を読む。	
	発問：SNS を利用する際、何に注意するとよいでしょうか。 - 個人ワークとして上記の課題に取り組む。 - 班の中で自分の考えを表現し、グループで共有する。 - グループで話し合ったことを、クラスで共有する。 - インターネットの利用においては、その特性を理解し、責任ある行動をとることが重要であることを伝える。 - 他者の考えに触れることでそれぞれの生徒の考えを深める。	
まとめ (5 分)	- 感想の記入前に、もう一度授業のねらいを確認し、振り返る。 - 感想の記入、授業の自己評価を行う。	インターネットやSNS を利用している中で困ったことがあれば自分一人で抱え込まず、相談するよう伝える。

- 4 教材** 絵本教材「デジタルネイティブの君たちへ」
 カード教材「自分と相手のちがい」
 ※出典：「SNS ノート（情報モラル編）」26 ページ（LINE 株式会社）
 <https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2018/190>
 事例プリント

5 実践するにあたって

(1) 概要

- 全 3 回のプログラムの 1 回目であり、他人の考え方に違いがあることに気付かせ、コミュニケーションの難しさや望ましいあり方について考えさせることを主眼としている。
- 題材だけでなく、グループでの活動そのものが、望ましいコミュニケーションの在り方を模索させるという本時のねらいと直結している。

(2) 基本的なスタンス

- 個人ワーク、グループワークを進めるなかで、発問に対する解答を探すことにこだわるあまり、他の生徒の意見を否定的に捉えてしまうことのないよう、ワークシートに記載されている「授業の評価」を適宜確認する。

(3) 工夫するとよい点

- カード教材は生徒を引き付けるのに有効である。しかし、生徒人数分のカードを印刷するには周到な準備が必要である。
- 事例のストーリーと登場人物は学習用に典型化されているが、実際に起きがちな事例でもある。生徒一人一人が自分のこととして考えることができる反

指導例 1

面、自分の経験と照らし合わせ、事例の登場人物への感情的な批判に終始しないよう、グループ内での議論では教員が必要に応じて助言を与えるとよい。

- ・生徒の作業内容が多いので、クラスの実態に合わせて、ワークを精選するとよい。

インターネットやSNSの適切な利用について ～ 適切なコミュニケーションとは ～

() 組 () 番 氏名 ()

【授業のねらい】

- 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- コミュニケーションにおける危険に気付き、適切なコミュニケーションについて考える。

【ワーク1】 ～ 自分が嫌だと感じることは？ ～

カードの番号を以下の欄に入れましょう。

--	--	--	--	--

← 嫌だ！

嫌ではない →

他の人のカード番号の順序も以下の欄に入れましょう。

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

それぞれ、どのよう
に感じたのか、
話し合ってみま
しょう！



他の人の考えで、なるほど！もしくは、自分とは違うな！
と思ったこと。気付いたこと等を書きましょう。

【ワーク2】 ～ この事例の問題点は何だろう？ ～

高校1年生のCさんは、部活動と勉強との両立で悩んでいました。そんなときに、同じ部活動で隣のクラスのDさんから「理想が高すぎ、気にしすぎ」と言われ、もやもやした気持ちで帰りました。

その夜、Cさんは、クラスの友だちで作ったSNSのグループに、軽い気持ちでDさんに対する不満を書きました。すると、他の友だちからも「私もカチンとくることがあるんだよね」というコメントが返ってきました。それを見たCさんは、さらにDさんに対する中傷や文句を書きました。その後、Dさんに対する中傷や文句に加わる人が増え、その勢いにCさんは「まずいことになった」と思いましたが、止める勇気はありませんでした。

翌日、このグループの中の一人が、Dさんが非難されていたということをDさんに話しました。それを聞いたDさんは、強いショックを受け、同じ部活動仲間のCさんから裏切られた気持ちになりました。

問1：Cさんの良くなかったところは、こういったところでしょうか。

問2：Dさんを傷付けてしまったことを後悔したCさんは、Dさんに謝りたいと考えていますが、
どうしたらいいか迷っています。あなたがCさんなら、どうしますか？
どちらかに○をつけて理由も書いてみましょう。

(SNS上のメッセージで謝る ・ 直接会って話す)
理由は、



【ワーク3】 ～ SNS を利用する際、注意すべきことは？ ～

自分の考えを書きましょう。

グループで話し合った内容を書きましょう。

【授業の評価】

本日の授業を振り返り、以下の3項目について自己評価をしましょう。

○ 課題に対して、自ら主体的に取り組み、意欲的に他者と話し合った。

[できた ・ ややできた ・ あまりできなかった ・ できなかった]

○ インターネットやSNSの特性や恐さを理解し、危険を予測して行動できる。

[そう思う ・ ややそう思う ・ あまりそう思わない ・ 思わない]

○ 他者の考えを認めながら自分の考えを表現できた。

[できた ・ ややできた ・ あまりできなかった ・ できなかった]

【感想の記入】 ～実際の生活に活かしたいことはありましたか？～